

世界の 10 大ポリエステル繊維メーカー（2010 年）

英国のコンサルタント PCI Fibres が 2010 年の 10 大ポリエステル繊維メーカーをまとめた。生産能力をもとにまとめたもので、インドの Reliance Industries が首位をキープした。中国企業が 7 社、インド企業が 2 社、台湾企業が 1 社という構成になっている。

1. 世界の 10 大ポリエステル繊維メーカー

首位はインドの Reliance Industries。ドイツの Trevira を手放す中で、年産 193.8 万トンの規模で首位をキープした。同社はフィラメントでも世界最大の企業であるが、ステープルでは Sinopec、三房巷に次ぐ第 3 位である。豊富なインド国内市場を背景に、積極的な設備投資と企業買収で規模を拡大してきた。パラキシレンからの一貫生産を構築し、競争力を有している。

2 位は中国の Sinopec（中国石油化工集团公司）。中国の 2 大国有石油企業のひとつである。傘下に儀征化繊や上海石化など 7 社の合繊企業を有し、それらをあわせると年産 114.3 万トンの規模となる。フィラメントは 14.8 万トンと規模が小さく、ステープル主体の構成である。すべて中国国内の工場である。

3 位はインド系資本の Indorama。インドネシア、タイ、インドに工場を有する。タイで Siam Polyester（現 IndoPoly）に続き、Tuntex を買収し、南亜塑膠を抜き、第 3 位に躍り出た。Indorama はボトル用 PET 樹脂で米国に年産 43.2 万トン規模の工場を建設し、世界の生産能力は合計 148 万トンに拡大。同分野で世界大手の一角に躍り出た。今後企業・工場買収を検討しており、さらなる拡大を目指している。

4 位は南亜塑膠。台湾のフォルモサグループにおけるポリエステル企業で、台湾、米国、ベトナム、中国に工場を構えている。ベトナム、中国工場は比較的新しい工場であるが、台湾、米国の既存工場を含め、大量生産型の中国企業では製造できない品質の良い製品を提供し、競争力を維持している。

5 位以下は中国企業が占めている。特徴としては、第 1 にいずれも民営企業であること、第 2 に単体工場として巨大な規模を有していること。4 位までの企業が複数工場を合算して大きな規模になっている分散型であることとは対照的である。しかも 6 社中 4 社がフィラメントもしく

はステーブルの専門企業であることも注目される。第3に供給過剰が問題とされているにもかかわらず、現在でも設備規模の拡大に積極的であること、第4に多くの企業がPTAに遡る一貫体制の構築を進めようとしていることである。

表1 世界の10大ポリエステル繊維メーカー

(1000 ㍉/年)

	企業	所在	フィラメント	ステーブル	計
1	Reliance Industries	インド・マレーシア	1,164	774	1,938
2	Sinopec	中国	148	995	1,143
3	Indorama	インドネシア・タイ・インド	462	505	967
4	南亜塑膠	台湾・米国・ベトナム・中国	536	420	956
5	三房巷	中国江蘇省	-	840	840
6	桐昆	中国浙江省	800	-	800
7	浙江榮盛	中国浙江省	540	200	740
8	浙江遠東化纖	中国浙江省	420	300	720
9	江蘇恒力	中国江蘇省	680	-	680
10	盛澤盛虹	中国江蘇省	675	-	675

(出所) PCI Fibres

(注) 2010年1月現在。推定を含む。以下同様

2. ポリエステルF

首位はReliance Industriesで年産116万㍉規模である。

2位は中国浙江省桐郷市の桐昆集団。本来であれば年産100万㍉以上の設備を有し、Relianceに迫る規模であるが、経営危機から新鳳鳴と設備を分割したことから2位の地位に収まっている。一部の老朽化したチップ紡を廃棄し、機能性製品の生産を拡大するなど構造改善をすすめている。フィラメントのみの生産であるが、ポリエステル繊維全体でも6位にランクインしている。

3位は江蘇省呉江市の江蘇恒力化纖。近年、急速に規模を拡大している。現在、産業用の新增設を進めている。ポリエステル繊維全体でもトップ10にある。

4位は江蘇省呉江市の江蘇盛虹化纖。「世界の極細ファインデニール企業」を目指し、既存設備の一部を廃棄し、ファインデニールへの生産にシフトしているものの4位に残った。PTT繊維の強化に力を入れている。

5位の浙江恒逸は8位の浙江榮盛と提携関係にあり、両社を合計すると Reliance を抜く規模となる。恒逸と榮盛は合弁で PTA プラントを建設している。

フィラメントはステープルと比べると単体としての規模が平均的に大きいのが特徴である。ステープルでは 29 万トンの設備でトップ 10 入りするが、フィラメントでは年産 46 万トン以上の規模を有していないとトップ 10 入りはできない。因みに、日本全体のポリエステル F 生産能力は 2010 年 1 月末で日産 1,108 トン。年産にすると約 40 万トンである。

表 2 世界の 10 大ポリエステル長繊維メーカー
(1000 トン/年)

	企業	所在	設備能力
1	Reliance Industries	インド Hazira	460
		インド Patlganga	230
		インド子会社(IPCL 等)	141
		Recron (マレーシア)	333
		計	1,164
2	桐昆	中国浙江省	800
3	江蘇恒力	中国江蘇省	680
4	盛澤盛虹	中国江蘇省	675
5	浙江恒逸	中国浙江省	650
6	新鳳鳴	中国浙江省	570
7	浙江縦横	中国浙江省	560
8	浙江榮盛	中国浙江省	540
9	南亜塑膠	台湾鶯歌	246
		米国	140
		ベトナム	70
		中国江蘇省	80
		計	536
10	Indorama	インドネシア	110
		IndoPoly (タイ)	32
		Tuntex (タイ)	60
		インド	260
		計	462

2. ポリエステル S

首位は中国の Sinopec で年産 99.5 万トン規模である。傘下企業の儀征化繊は中国における巨大工場の走りである。儀征は近年、フィラメント事業からは引きつつあるが、ステープルは付加価値品の開発を進めるなど力を入れている。58 万トンは単体工場としては首位の三房巷に次ぐ大規模工場である。

2 位は中国江蘇省江陰市の三房巷集団。年産 84 万トンの規模の工場を有し、単体工場では世界最大規模である。

3 位は Reliance Industries で年産 77.4 万トン

4 位は韓国の Huvis。韓国と中国四川省自貢市に工場を有しており、合計で年産 55 万トンの設備規模となる。韓国でフィラメントを製造しているが、年産 10 万トン規模とステープルに比べ規模は大きくない。

表 3 世界の 10 大ポリエステル短繊維メーカー
(1000 トン/年)

	企業	所在	設備能力
1	Sinopec	天津	100
		上海石化(上海)	150
		儀征化纖(江蘇省)	580
		河南	150
		新疆	15
		計	995
2	三房巷	中国江蘇省	840
3	Reliance Industries	インド Hazira	480
		インド Patlganga	110
		インド子会社(IPCL 等)	130
		Recron(マレーシア)	54
		計	774
4	Huvis	韓国全州	235
		韓国蔚山	160
		中国四川省	154
		計	549
5	Indorama	インドネシア	60
		IndoPoly(タイ)	20
		Tuntex(タイ)	115
		インド	310
		計	505
6	南亜塑膠	台湾鶯歌	120
		米国	200
		ベトナム	50
		中国江蘇省	50
		計	420
8	Ibrahim Fibres	パキスタン Shahkok	420
8	紹興遠東	中国浙江省	300
9	遠東紡	台湾新竹	170
		上海	120
		計	290
9	江陰市華宏	中国江蘇省	290

フィラメントでは 10 社中、7 社が中国企業が占めたが、ステーブルでは 4 社に過ぎず、インド系が 2 社、台湾企業が 2 社、韓国、パキスタンとバラエティに富んでいる。

(担当：業務調査グループ 杉原)